天ヶ城保育園における自己点検及び自己評価

期間（令和7年10月～3月）

評価基準

A.よくできている　B.ほぼできている　C.努力が必要

評価方法　【A:3　B:2　C:1 と換算して平均を出した。】

常勤・非常勤の全保育士から提出された上記期間の自己評価票を集計し、それを施設の評価とした。

No. ①

①保育の理念・保育観

		評価	内訳		
			A	B	C
1-1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	2.7	16	5	0
1-2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが、保育園の重要な使命だと理解していますか。	2.9	19	2	0
1-3	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	3.0	19	2	0
1-4	あなたは、保育所保育または養護と教育が一体となって行われている。ということを認識していますか。	3.0	19	2	0
1-5	子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	2.7	16	5	0
1-6	あなたは、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	2.9	18	3	0
1-7	育児の考え方について、保護者とあなたとが食い違っているとき、先ず相手の気持ちを受けとめ、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。	2.5	12	9	0
1-8	子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。	2.6	13	8	0

②保育の内容

1）保育計画・指導計画

		評価	内訳		
			A	B	C
2-1	あなたは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。	2.6	10	6	0
2-2	保育には指導計画(年・月・週案など)の作成という、あらかじめ見通しをもった計画性が必要だと思いますか。	2.8	12	4	0
2-3	あなたの月・週案などには、教育的側面(五領域の視点)だけではなく、養護的側面(基礎的事項)もしっかり盛り込まれていますか。	2.7	11	5	0
2-4	子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週案などを作成していますか。	2.8	12	4	0
2-5	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月週案などを立てていますか。	2.6	11	5	0
2-6	園の保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・週案などのねらいや内容を、保護者にわかるように説明できますか。	2.6	10	5	1
2-7	月1回以上・自分自身の指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしてしますか。	2.7	11	5	0

No. ②

◆乳児保育

		評価	内訳		
			A	B	C
2-8	あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	2.8	9	7	0
2-9	哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で話し合っていますか。	2.9	10	4	0
2-10	授乳について、その子が欲しがる時にやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。	2.9	11	3	0
2-11	離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うよう工夫していますか。	2.8	9	4	0
2-12	おむつ交換は、「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージししたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。	2.8	12	4	0
2-13	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。	3.0	15	1	0
2-14	絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさし言葉を添えたりしてあなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか。	3.0	14	1	0
2-15	あなたは、自分の服装の色合い、頭髪・爪などの清潔や、室内の清潔にも配慮していますか。	2.8	12	4	0
2-16	寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、かけぶとん、呼吸等の確認をしていますか。	2.9	14	2	0
2-17	一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。	2.9	11	3	0
2-18	連絡ノートを活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。	2.9	12	3	0

◆３歳未満児保育（1・2歳児保育）

		評価	内訳		
			A	B	C
2-8	探索活動が十分行えるよう、安全によく気を配りつつ、環境を整えたうで、子どもが要求する行動を容認できますか。	2.8	13	6	0
2-9	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	2.8	15	4	0
2-10	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気で食事ができることを第一に考えていますか。	2.7	14	5	0
2-11	子どもがおもちやの取り合いなどでぶっかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか。	2.8	15	4	0
2-12	「おや、何だろ?」、「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしていますか。	2.8	11	7	0
2-13	散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心・をもっことを大切にしていますか。	2.8	12	4	0
2-14	子どもと会話をするときに、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。	2.9	15	4	0
2-15	あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。	2.6	10	9	0
2-16	子どもに「絵本読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに応えていますか。	2.6	9	10	0
2-17	自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、丁寧に話してきかせたり、気持ちを切り替える時間をとり、ゆったりと待つことができますか。	2.6	11	8	0

No. ③

◆３歳以上児保育

ア基礎的事項

		評価	内訳		
			A	B	C
2-8	あなたは、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係をつくる努力をしていますか。	2.8	13	4	0
2-9	子どもが自己表現できるように、その時どきの要求や気持ちを読み取り、どの子も自分が愛されていると実感できるように接していますか。	2.8	12	5	0
2-10	少しでもふだんと違う具合の悪そうな子どもに気づいたら、自分から体の不調を訴えられるように、やさしく問いかけていますか。	2.7	13	4	0
2-11	日常の生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見に努めていますか。	2.8	14	3	0
2-12	季節感を味わえる環境を整えたり、心地良い音楽を流すなど、なごやかにくつろいで過ごせる室内の環境づくりを心がけていますか。	2.5	7	8	0

イ健康

		評価	内訳		
			A	B	C
2-13	あなたは、「食育」の考え方を大切にし、食事を「楽しく・おいしく」味わえるように、テーブルの配置や飾りつけなども工夫していますか。	2.5	8	7	0
2-14	給食のメニューやレシピ、食に関する情報を保護者に知らせるなど、発育期にある子どもの食事の大切さに関心をもってもらう努力をしていますか。	2.4	7	6	1
2-15	天気の具合や活動内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自らが考えられるように言葉をかけていますか。	2.9	15	1	0
2-16	トイレに行くことをせかせたり、強制したりせずに、一人ひとりの排泄の欲求に合わせるようにしていますか。	2.8	13	3	0
2-17	おもらしをしたり、排泄の後始末がうまくいかなかったりしても、さりげなく対応し、自分でできるように個別の指導がなされていますか。	2.9	14	3	0
2-18	清潔でいることは気持ちよいことと子どもが知るために、手洗い場、トイレなどをいつもきれいにしていますか。	2.9	16	1	0
2-19	子どもがいろいろな楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取り入れていますか。	2.8	10	5	0
2-20	子どもが外で十分に体を動かして遊びに興ずることができるように、日頃から園庭や固定遊具の整備をしていますか。	2.9	13	4	0

ウ. 人間関係

		評価	内訳		
			A	B	C
2-21	「保育園の先生が好きだ」といった幸福感を味わえるために、子どもが充実できる活動や場を日頃から用意していますか。	2.6	10	7	0
2-22	あなたは、子どもが嬉しい時や悲しい時、また困ったり戸惑ったりした時に、それを伝えたい存在となっていますか。	2.7	12	5	0
2-23	自己を表現する力や相手の言うことをきく姿勢がもてるよう、あなたはそれぞれの子どもの立場や気持ちをくみ取った仲立ちをしていますか。	2.7	10	7	0
2-24	あなたは、その子の発達の段階を理解して働きかけながら、子どもがきまり約束の大切さに気づき、それを守ろうとする態度を養うように努めていますか。	2.6	11	6	0
2-25	遊びの中で子どもたち自らが試行錯誤しながらつくっていくルールを、大切に見守ることができますか。	2.8	12	5	0
2-26	子どもたちのけんかやぶつかり合いを、友だちを知る機会や、社会性が育つ過程として受けとめ、その育ちを見守ることができますか。	2.9	13	4	0

エ. 環境

		評価	内訳		
			A	B	C
2-27	今日咲いた花、飛んできた鳥や虫など、それぞれの季節ならではの子どもの感動が、あなた自身のものとして受けとめられていますか。	2.9	16	3	0
2-28	庭や散歩で拾ってきた木の葉・木の実など、いろいろな物を比べたり調べたりして、自然の不思議さや面白さを子どもたちと共感するとともに、物の性質や数・量などに対する興味を育てていますか。	2.6	13	5	1
2-29	あなたは、最近の社会の出来事に目を向け、理解したうえで、子どもの興味・関心に沿うかたちでわかりやすく説明することができますか。	2.4	7	11	1
2-30	地域の公共施設やそこで働く人びとと子どもの生活とのかかわりについて、正しく伝えていますか。	2.4	6	13	0
2-31	子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。	2.7	10	8	0

オ. 言葉

		評価	内訳		
			A	B	C
2-32	言葉は、コミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、幼児期に言葉を豊かに身に付けられるように努力していますか。	2.8	14	5	0
2-33	子どもたちが、生活や遊びを通して、生きた言葉を多く自分のものとできるように工夫していますか。	2.7	13	6	0
2-34	日頃あなたは、声の大きさに気をつけ、わかりやすい、子どもへの心を込めたあたたかな言葉づかいでゆっくり話すようにしていますか。	2.5	9	10	0
2-35	子どもが登園してきたとき、いつもさわやかに挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしていますか。	2.8	14	5	0
2-36	絵本や童話を読み聞かせるときは、文章の美しさや言葉のリズムの面白さに気を配り、その物語性や、伝統のすばらしさを伝えるようにしていますか。	2.7	10	8	0
2-37	子どもが話しかけてきたとき、その内容や結論がわかっていても、ゆっくり聞いて会話したい気持ちを満たし、言葉で伝えあう場を大切にしていますか。	2.8	14	5	0
2-38	子どもに言い聞かせるときには、問い詰めたり、押し付けたりせずに、子ども自ら考えるきっかけになるようなわかりやすい言葉づかいをしていますか。	2.5	8	11	0

カ. 表現

		評価	内訳		
			A	B	C
2-39	見たこと、感じたものに対して、言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。	2.7	11	7	0
2-40	あなたは、その子が感じたままを作品や動きなどで表現していることをくみ取ることができますか。	2.8	14	4	0
2-41	活動の場面に応じて、リズムやボリュームなどに配慮して子どもの耳に快く響く音を提供していますか。	2.7	10	9	0
2-42	友達との合奏が、一人で楽器を鳴らすこととは違った楽しさもあることを体験できるよう、あなたは盛り上げる役を果たしていますか。	2.5	9	6	1
2-43	子ども自分の作品を大切にされていると感じられるように、展示のしかたなどを工夫していますか。	2.5	9	6	0
2-44	子どもが、いつでもすぐに使えるように、クレヨン・絵の具・粘土・紙などを手近に用意していますか。	2.4	7	5	2
2-45	ハサミなど危険を伴う道具には正しい使い方や後片付けのしかたを日常的に指導していますか。	2.6	12	2	1
2-46	子どもたちの遊びに、身体を使った様々な表現遊びを多く取り入れていますか。	2.6	9	6	0

No. ④

◆特別な配慮や支援を必要とする子ども（障がい児）の保育		評価	内訳		
			A	B	C
3-1	保育園は、障がいをもつ子もそうでない子も「共生」「共育」の観点から、当た前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。	2.8	14	5	0
3-2	障がい児が入園した時、安全管理や個別的対応などその子を受け入れるための保育を、積極的に進めようと考えていますか。	2.6	8	10	0
3-3	あなたは、障がい児もそうでない子も互いのよさを感じとり、楽しく交流できる雰囲気づくりに励んでいますか。	2.8	11	7	0
3-4	あなたは園でのケース会議で積極的に議論することにより、園内の障がい児への理解を深めるよう努力していますか。	2.8	11	5	0
3-5	あなたは、障がい児により適切な保育をするために、様々な専門機関等と連携をしていますか。	2.6	7	9	0
3-6	障がい児の保護者が、様々な苦しみや悩みを抱えてきていることを、触れ合うなかで感じることがありましたか。	2.7	9	7	0
3-7	日常的に障がい児の保護者との話し合いの場等を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけていますか。	2.5	7	9	0
3-8	就学に向けて相談する障がい児の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めてへいけるように相談に応じたり、情報提供をしたりしていますか。	2.5	8	7	1
3-9	障がい児保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境(遊具等)を整えるなどの努力をしていますか。	2.4	8	7	1

③行事		評価	内訳		
			A	B	C
3-10	「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもっことを意識していますか。	2.9	15	5	0
3-11	みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。	2.8	16	4	0
3-12	子ども達が期待をもって「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。	2.5	10	8	0
3-13	「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。	2.6	12	6	1
3-14	「保育参観」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持ちのゆとりをもっていますか。	2.6	12	5	1
3-15	あなたは「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。	2.7	13	5	0
3-16	保護者や地域住民にも参加してもらうような「行事」については、園だよりや広報紙等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	2.5	11	4	2

④保育園の職務役割分担		評価	内訳		
			A	B	C
4-1	園長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。	2.9	14	6	0
4-2	登園を嫌がることが続くなど、問題を感じたとき、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談していますか。	3.0	19	1	0
4-3	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。	2.5	7	12	0
4-4	調理師など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわるとき、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。	2.6	12	9	0
4-5	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から訪ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	2.8	15	6	0
4-6	あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。	2.9	18	3	0

⑤保護者との連携		評価	内訳		
			A	B	C
5-1	その日の子どもの健康状態や興味をもった遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	2.9	16	2	0
5-2	あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、園長等と話し合ったうえで受け入れるよう努めていますか。	2.8	13	4	0

⑥保健活動・安全管理		評価	内訳		
			A	B	C
6-1	身長・体重等の測定や医師の診断から、発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の保育に生かしていますか。	2.8	15	4	0
6-2	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	2.9	17	3	0
6-3	子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。	2.8	16	3	0
6-4	あなたは、睡眠中の子どもの顔色・呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	2.9	17	4	0
6-5	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導のもとに適切な対応をしていますか。	2.9	18	1	0
6-6	あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか。	2.9	17	4	0
6-7	園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。	2.7	15	6	0
6-8	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか。	2.9	18	3	0
6-9	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。	2.8	15	5	0

⑦保育士としての資質向上（研修・研究活動）		評価	内訳		
			A	B	C
7-1	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題をみつけることができますか。	2.7	12	9	0
7-2	保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。	2.7	13	8	0
7-3	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べることができますか。	2.6	11	9	0
7-4	あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。	2.5	10	8	1
7-5	あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌など記録が書けていますか。	2.7	12	6	0